

## 平成30年4月入学 電気通信大学情報理工学域特別編入学試験の概要について

本学では、平成28年4月に情報理工学部を情報理工学域に改組しました。

改組の概要は、情報理工学部を「情報理工学域」に改称し、「総合情報学科」、「情報・通信工学科」、「知能機械工学科」及び「先進理工学科」の4学科14コースを、「Ⅰ類（情報系）」、「Ⅱ類（融合系）」、「Ⅲ類（理工系）」の3類14教育プログラムに再編成しました。また、先端工学基礎課程（夜間主）は、従来の「社会人コース」及び「インターンシップコース」のコース制から、原則として、夜間の修学を希望する社会人を対象とする教育を行う夜間主課程に再編しました。このことに伴い、平成30年4月情報理工学域第3年次編入学生から改組後の類及び先端工学基礎課程への編入学になります。以下に平成29年度に実施する入学試験の概要についてお知らせします。

なお、志願する場合は、「平成30年度情報理工学域特別編入学試験学生募集要項」により、必ず内容を確認してください。（Ⅰ類、Ⅱ類、Ⅲ類用募集要項：平成29年5月配布予定、先端工学基礎課程用募集要項：平成29年8月配布予定）

### 《Ⅰ類、Ⅱ類、Ⅲ類》

#### 1. 募集人員

	類 3年次からの教育プログラム	募集人員	備考
情報理工学域	Ⅰ類（情報系） メディア情報学プログラム 経営・社会情報学プログラム 情報数理工学プログラム コンピュータサイエンスプログラム	9名	推薦による入学者 選抜は募集人員の 半数程度
	Ⅱ類（融合系） セキュリティ情報学プログラム 情報通信工学プログラム 電子情報学プログラム 計測・制御システムプログラム 先端ロボティクスプログラム	10名	
	Ⅲ類（理工系） 機械システムプログラム 電子工学プログラム 光工学プログラム 物理工学プログラム 化学生命工学プログラム	10名	

#### 2. 編入年次

3年次とします。

#### 3. 推薦による入学者の選抜

高等専門学校において、人物に優れ、学業成績が優秀で、かつ志望する類での専攻の意志が強く、学校長が責任をもって推薦できる者に対して、学力試験を免除し、面接試験及び提出書類による選抜を行います。

##### (1) 出願資格

平成30年3月高等専門学校卒業見込みの者で、次表の本学の類に対応するいずれかの学科に在学する者に限ります。

本学の類	対応学科
Ⅰ類（情報系）	電気系、電子系、情報系、電子情報系、システム系等関係する学科に在籍する者

Ⅱ類（融合系）	電気系、電子系、情報系、電子情報系、機械系、制御系、システム系等関係する学科に在籍する者
Ⅲ類（理工系）	機械系、制御系、システム系、航空系、電気系、電子系、情報系、物質系、材料系、生命系等関係する学科に在籍する者

(2) 推薦基準

出身学校長が人物、学業ともに優れていると認める者で、学業成績が一定の基準に達している者であること。

上記の学業成績の一定の基準とは、Ⅰ類（情報系）、Ⅱ類（融合系）、Ⅲ類（理工系）とも次のとおりです。

- ① 3・4年次の各学年の学科現員に対する学業成績の席次の平均が上位20%以内の者
- ② 席次を定めない高等専門学校では、出身学校長が①と同等と認めて推薦する者

(3) 各高等専門学校で推薦できる人数

4名以内を推薦することができます。

(4) 志望方法

志望する類と、その類の教育プログラムを1つ選択して出願します。

(5) 選抜方法

入学者の選抜は、推薦書、調査書、面接試験の結果を総合して行います。

(6) 面接試験の内容

本学の類	面接の内容
Ⅰ類（情報系）	個人面接により、志望動機、勉学意欲、自己表現能力、卒業研究の内容、数学と情報の基礎知識などについて試問を行い評価します。
Ⅱ類（融合系）	個人面接により、志望動機、勉学意欲、自己表現能力、卒業研究の内容、数学と専門科目の基礎知識などについて試問を行い評価します。
Ⅲ類（理工系）	個人面接により、志望動機、勉学意欲、自己表現能力、卒業研究の内容、数学、物理又は化学と専門科目の基礎知識などについて試問を行い評価します。

4. 学力試験による入学者の選抜

(1) 出願資格

- ① 高等専門学校又は短期大学を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- ② 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上でかつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1700時間以上のものに限る。）を修了した者及び平成30年3月修了見込の者（学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- ③ 大学を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- ④ 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年3月修了見込の者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年3月修了見込の者
- ⑥ 大学（前号の教育施設を含む。）に2年以上在学（平成30年3月までに2年以上の在学となる者を含む。）し、64単位以上を修得（見込みを含む。）した者
- ⑦ 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科（修業年限が2年以上のものに限る。）を修了した者及び平成30年3月修了見込の者学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）

注1) 上記の高等専門学校、短期大学、専修学校、高等学校等及び大学は、学校教育法（昭和22年法律第26号）により定められたものに限ります。（※各省庁設置の大学校からの編入学は認

められません。)

注2) 上記⑥において、所定の単位を修得見込みの者が、平成30年3月までに修得できなかった場合には、入学許可を取り消します。

(2) 志望方法

I類(情報系)、II類(融合系)、III類(理工系)から1つの志望の類と、その類の教育プログラムをI類(情報系)においては、第4志望まで、II類(融合系)とIII類(理工系)においては、第5志望まで選択して出願します。

(3) 選抜方法

入学者の選抜は、学力試験、面接試験の結果及び調査書を総合して行います。

①学力試験の科目及び出題分野・内容等は次のとおりです。

なお、「物理学」、「化学」は学力試験時にいずれかを選択とします。

科目	出題分野・内容等
数学	微分積分学(一変数、多変数)、線形代数学、関数論から5問出題、4問選択
物理学	力学、電磁気学、熱物理学、波動と光、現代物理学
化学	物質の結合、化学平衡(化学熱力学を含む)
英語	大学教養程度

②面接試験の内容

類名	面接の内容
I類(情報系)	個人面接により、志望動機、勉学意欲、自己表現能力、情報の基礎知識などについて試問を行い評価します。
II類(融合系)	個人面接により、志望動機、勉学意欲、自己表現能力、専門科目の基礎知識などについて試問を行い評価します。
III類(理工系)	個人面接により、志望動機、勉学意欲、自己表現能力、専門科目の基礎知識などについて試問を行い評価します。

《先端工学基礎課程(夜間主)》

1. 募集人員

	課程	募集人員
情報理工学域	先端工学基礎課程	3名

2. 編入年次

3年次とします。

3. 出願資格

- (1) 高等専門学校又は短期大学を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上でかつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1700時間以上のものに限る。)を修了した者及び平成30年3月修了見込の者(学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。)
- (3) 大学を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- (4) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年3月修了見込の者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を

修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年3月修了見込の者

(6) 大学(前号の教育施設を含む。)に2年以上在学(平成30年3月までに2年以上の在学となる者を含む。)し、64単位以上を修得(見込みを含む。)した者

(7) 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科(修業年限が2年以上のものに限る。)を修了した者及び平成30年3月修了見込の者(学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。)

注1)上記の高等専門学校、短期大学、専修学校、高等学校等及び大学は、学校教育法(昭和22年法律第26号)により定められたものに限ります。(※各省庁設置の大学校からの編入学は認められません。)

注2)大学に在学中の者は、在籍したまま受験することができます。ただし、3月末日までに当該大学の退学証明書を必ず提出してください。

注3)上記(6)において、所定の単位を修得見込みの者が、平成30年3月までに修得できなかった場合には、入学許可を取り消します。

注4)この選抜に出願する者は「情報理工学域先端工学基礎課程AO入試」への出願はできません。

注5)外国人留学生は先端工学基礎課程(夜間主)に出願できません(夜間主の場合、在留資格「留学」にはなりません)。

#### 4. 出願要件

本課程は原則として夜間の修学を希望する社会人を対象としますが、社会人以外でも、夜間の修学を必要とする者には出願を認めます。夜間の修学を必要とする理由としては、たとえば、経済的事情などが挙げられます。

#### 5. 選抜方法

入学者の選抜は、総合問題試験、面接試験の結果及び出願書類を総合して行います。

##### (1) 試験の内容

試験区分	内容
総合問題試験	理数的基礎知識、読解力、作文能力、論理的思考力等を問います。課題は英文で与えることがあります。
面接試験	複数の面接委員による個人面接を行い、志望動機、勉学意欲、自己表現能力、理工系の基礎学力などについて評価します。

以上